

道徳だより

令和5年10月
七塚小学校
校長 稲垣 優子
1年生担当

今回は、1年生の授業の様子についてお伝えします。

主題名：しんせつはいいきもち 教材名：「はしのうえのおおかみ」

《ねらい》

くまに親切にされたおおかみの変容を通して、意地悪をしたときよりも、親切にしたときのほうがずっと気持ちがいいことを理解し、身近にいる人を親切にしようとする心情を育てる。

《あらすじ》

一本橋を渡るおおかみは、向かいから来たうさぎを「もどれもどれ」と追い返します。それが面白くなったおおかみは、きつねが来てもたぬきが来ても追い返しました。ある時、橋の向こう側からくまがやってきて「どうぞおさきにわたってください。」と譲ってもらったおおかみ。この出来事をきっかけに、おおかみの行動が変わっていきました。



教師の問いかけ

橋を譲ってもらったおおかみは、どんな気持ちだったのかな。



- くまさん、やさしかったな。
- くまさん、かっこよかったな。
- きょうから自分も通らせてあげよう。
- もうあんないじわるをするのはやめよう。



今回はおおかみ役が担任、うさぎ役として何人かの子どもたちに演技をしてもらいおおかみやうさぎの気持ちを考えました。おおかみのはじめの「えん、へん」は「意地悪な気持ち」だけど、譲ってあげた後の「えん、へん」は「いいことをしたな、やさしくなれたな」という気持ちだと、その違いについて子どもたちは気付いていました。自分が親切にしてもらった経験について聞くと、「たくさんあるよ。」「消しゴムを捨ててもらったよ。」と自分の経験をたくさん話していました。その時は、「嬉しかったよ。」「ありがとうって思ったよ。」と感じたようです。そんな温かい気持ちがあふれる学校生活をこれからも送れるといいですね。